

墓地に関するアンケート結果をお知らせします

今日、墓地等を取り巻く社会環境は、大きく変化しています。

市では、墓地所有状況や取得希望などについて把握し、その結果を今後の墓地整備のための基礎資料として活用させていただくため、アンケートを実施しました。

今回のアンケートでは、「お墓等の所有状況」や「お墓等の継承者の有無」、「お墓等の取得・形態の希望」など全14問の調査を実施し1,303人の方からご回答をいただきました。

「お墓等の所有状況」の設問に対しては、

【これからの墓地整備】

東京都などの大都市圏においては、核家族化・少子・高齢化の進展など家族環境の変化により、墓地需要の多様化や墓地の無縁化が進み、様々な形態のお墓の整備や先祖の敬い方に変化がみられます。

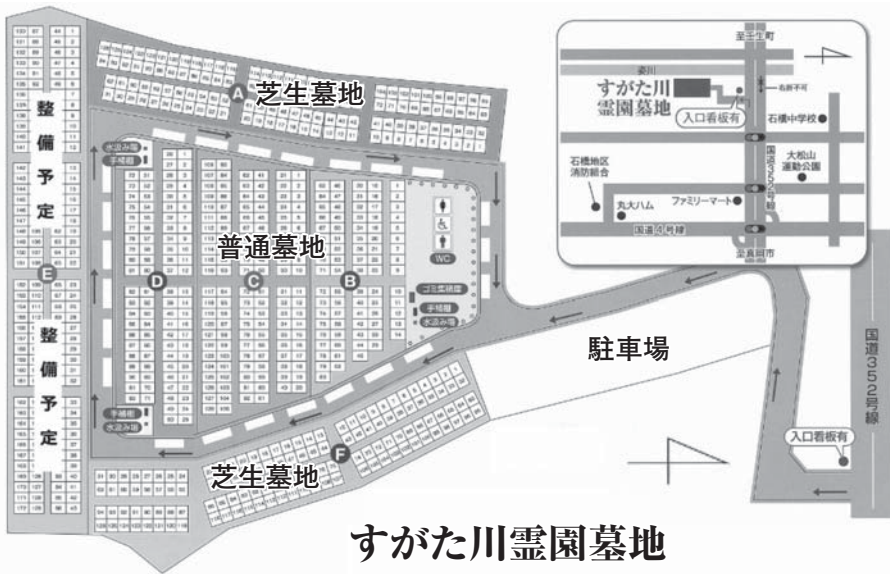
本市においても今回のアンケートによって、お墓に対する考え方の多様化や管理・継承が重い足かせとなるなどの意見が寄せられ、大都市圏での問題が少しずつ現れている傾向にあります。

市営墓地すがた川霊園は、整備が一部残っています。今回のアンケートの結果から要望が多かった芝生型墓地を計画通り整備してまいります。

今後も市営墓地の運営においては、社会環境の変化を背景に高まるニーズに対し、必要性や整備方法等について検討してまいります。

お墓や納骨堂等を所有している方と将来親などから受け継ぐ予定の方が75%でした。

また、所有していない方のうち、将来取得したい意向の方が62・5%、形態については、芝生型を希望する方が最も多く次に合葬式（樹木・慰霊碑型等）、従来型、納骨堂と続きました。

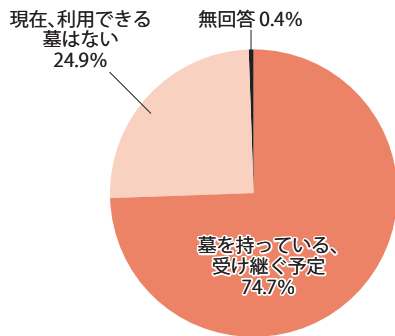


希望する方が最も多く次に合葬式（樹木・慰霊碑型等）、従来型、納骨堂と続きました。

【調査概要】

- 調査対象
40歳以上の市民
男女3,000人
- 調査方法
郵送による配付・回収
- 調査期間
平成26年7月31日
～8月22日
- 回収率
43・4%

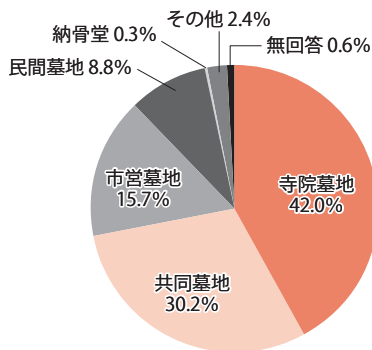
『ご自身が利用できるお墓等を持って（受け継ぐ予定）いるか』



「現在、利用できるお墓等を持って（受け継ぐ予定）いる」が74・7%、「現在、利用できるお墓等を持っていない」が24・9%という結果になりました。

『現在、お墓等を持って（受け継ぐ予定）いる方に対する設問』

『持って（受け継ぐ予定）いるお墓等はどういった場所にあるか』



「現在、利用できるお墓等を持って（受け継ぐ予定）いる」と回答のあった方のうち、「寺院墓地」に持っているが42・0%、「集落などにある共同墓地」が30・2%、「市営墓地」が15・7%、「宗教を問わない民間の墓地」が8・8%、「納骨堂」が0・3%でした。

